

News Letter

1999.11.4
No. 1

今月のMENU

近況報告

理事会報告

教育シンポジウムの報告

今後の予定

協会近況報告

今年の秋はどうしてしまったのでしょうか。これも環境問題が原因かなと少し考え込んでしまいます。

さて、無駄話はやめて、早速協会の近況の報告をいたします。

右の表が認証を受けて、9月の設立パーティーを無事終了させた後の主な動きです。これを見ても、会員の皆さんからすると協会がどのような活動をしているのか良くお判りにならないかも知れませんが、簡単に説明します。

現在は「内容充実に向けた仕込みの時期」と考えています。そのため、色々な団体や様々な人々と会っているところです。

6月30日の南アフリカ・日本スポーツ及び文化交流協会理事会への参加は、協会が掲げている8番目の事業の「国際協力」に関係します。この団体と協力して、アパルトヘイト政策で心に傷を負っている子どもたちへの支援活動を行っていくつもりです。また、10月20日在日アフリカ外交官セミナーへの協力は、協会の特別顧問の四方先生が「日本の教育の成功と失敗」というテーマで講演されます。協会としても協力をし、「アフリカの自立」に向けた支援活動を行っています。これだけでなく、今後ともアジアアフリカの子どもたちへの教育支援を積極的に行っていきたいと思えます。

8月22日の「湘南に新しい公立学校を創る会」は公立学校の先生方が、これまでのお仕着せの学校では子どもたちの生きていく力は育たないと、チャータースクールの制度を導入して改革しようとしている会です。我々としての協力のあり方も交えて話し合っています。こういった公立学校の先生方の中でチャータースクールを創る動きは千葉でもはじまっており、協会としても今後の協力関係を模索していきます。(次ページへ続く)

この間の主な出来事

6月7日 教育支援協会特定非営利活動法人としての認証を受ける

6月30日 南アフリカ・日本スポーツ及び文化交流協会理事会へ参加

7月2日 第1回理事会
文部省を表敬訪問寺脇氏との会談

7月13日 全国新学力テスト総括会議

7月30日 第2回理事会
文部省樋口課長以下3名が東京事務局に訪、今後の協力関係を確認

8月22日 「湘南に新しい公立学校を創る会」との会合

8月23日 岐阜東中学校での講演

8月30日 野外体験学習の実験実施(栃木)

9月3日 第3回理事会
教育支援協会設立パーティー

9月8日 中部地区本部設立準備会

9月15日～22日 九州から各地での説明会

10月1日 大学公開講座、中部は名城大学に決定

10月7日 英会話民間委託へ松香先生との会合

10月16日 愛知県での父母対象の講演会

10月17日 「湘南に新しい公立学校を創る会」のシンポジウムに参加

10月19日 中部地区本部設立第2回準備会

10月20日 在日アフリカ外交官セミナーへの協力でアフリカ協会のケンネ理事来訪

10月24日 全国新学力テスト準備会(中部)
来年度方針を決定

10月27日 北関東地区活動説明会

10月30日 松香先生と協力関係について協議

10月31日 教育シンポジウム開催(東京)

7月13日の全国新学力テストに関する活動は、新しい教育の在り方における新しい評価のあり方を作り出すものです。従来の「短絡的に一つに決められた答を答えさせるテスト」ではなく、子どもたちの思考力や表現力を育成するためのテストを作っていきたいと思います。テストを変えていくことは必要なことだと思います。総括会議は今年度の反省をまとめ、10月24日の全国新学力テスト準備会で来年度に向けた方針を決めました。

テスト自体がこれからの教育に不必要ではないか、という声は協会の理事会の中にもありましたが、今後日本からテストがなくなることはありませんし、より良いテスト作りは教育改革の上でも具体的な提案として行っていく必要があると考えます。

7月2日に文部省を表敬訪問して寺脇氏との会談を持って以来、文部省との意見交換は恒常的に行っています。これまでお互いに協力することで基本的に一致を見てきましたが、最近では「英会話の民間委託問題」についての意見交換や官と民との協力体制作りのための「教育シンポジウム」(右欄で報告)を文部省の協力を得て実施しています。来年へ向けて各地でも教育シンポジウムを実施していきますので、「ここでやろう」という発案を事務局にお寄せ下さい。

また、現在協会事業計画の2番目の「ファミリーフォーラム」と事業計画の4番目の大学の公開講座について文部省の後援を依頼しています。

なお、大学公開講座は中部地区は名城大学に決定し、関東地区は東京大学と千葉大学に、関西地区は京都大学に交渉中です。

10月7日に英会話民間委託へ向けた準備としてフォニックスの手法で著名な松香先生との会合を持ちました。松香先生は小学生からの英語教育の推進者で、現在も全国で学校の先生や民間人の研修活動を行っています。協会としても教育の民間委託へむけた動きを加速させるために、松香先生やその支持者の方々と協力していきます。

東京の事務所は毎日千客万来、また東奔西走ですが、2000年から2002年までが日本の教育の大きな変革期です。皆様のご支援とご協力に感謝し、共にがんばっていきましょう。(記: 吉田 博彦)

教育シンポジウム(東京)の実施報告

10月31日に東京・渋谷の東京ウイメンズプラザで教育支援協会主催の「教育シンポジウム」を開催いたしました。(協力: 文部省民間教育事業室、MEC情報教育研究会)

最初に吉田代表理事より教育改革を進めていく上で、公教育と民間教育は協力できるかということが今回のテーマだという説明があった。

パネラーの紹介の後、文部省の白間室長より、教育改革の流れが説明され、入試改革への取り組み等が紹介された。それを推進していくために、民間の協力も必要ではないかという考えを文部省が持っている、ということが述べられた。

それを受けて東京都教育庁の大澤課長から学区の自由化など教育改革に向けた具体的な取り組みが説明され、習志野市教育センターの宮崎所長から自分が校長時代に取り組んだ「学校を地域に開く」というテーマに基づいた実践例がビデオを使って報告された。

これに対して広島学習塾の須田塾長より「宮崎さんの意見に大賛成で、子どもたちのために何が一番良いのかという視点から考えられることが大切だ。その中で必要のない学習塾がなくなるとしたらそれはしかたがないことだ。しかし、我々は役に立つようにならなくてはいけない」との発言があり、つづいて家庭で地域の子どものための学習教室を開いている水間先生から教育改革が進む中で、地域の親がどんなことを考えているのか紹介された。

その後会場からの質問を受け、大澤課長からは「現在進行している教育改革の価値観と従来の教育の価値観には大きな違いがある。必要な場合には民間と協力してやっていきたいが、少なくとも子どもたちが混乱しないように、同じ方向性は持ってもらいたい。」との意見があった。(なお、くわしい議論内容に関しましては後日送付)

今回のように市民の前で行政側と民間が議論することが大切です。そのため、こういった教育シンポジウムを全国各地で開催していきたいと思っておりますので、希望される会員は事務局までご連絡下さい。

理事会議事再録

このコーナーは情報公開法にそって、公式議事録の内容を掲載いたします。但し、具体的な議論の過程は省略し理事会議事録を要約して掲載いたします。

第1回 日時 平成11年7月2日(金)

場所 教育支援協会東京事務所 出席 理事全員

教育の民間委託

専門委員会を設置して、体験学習を担う人材の育成、遂行のノウハウを蓄積する旨の意見が出され了承。

総合数理科学検定事業

これから設置される総合数理科学学会を支援することで、将来は検定事業にすることを了承。

大学との提携による公開セミナーの実施

指導者は大学の先生、実施にあたっては教育支援協会の主催で開講すべきという議論があって、大学の先生に限らない公開セミナーは別に企画することで了承。

教育の国際協力に関する事業

外国で日本語を学ぶ子供たち、外国人留学生の支援および外国への教師派遣事業に協力する旨の提案があり、了承された。

第2回 日時 平成11年7月30日(金)

場所 教育支援協会東京事務局 三浦理事欠席

グローバル・キッズクラブ

この活動は野外体験学習に限定せず、また、当協会の主催する活動と、協会がサポートする活動があることの修正案が出され、全会一致で賛成した。

ファミリーフォーラム

大きな講演会だけでなく、地域に密着した会も想定することが提起され、了承された。

大学との提携による公開セミナー

文部省へ提言する事業とすることが了承された。

全国新学力テスト

文部省へ提言する事業とすることが了承された。

教育の国際協力

学校へのスタッフ派遣(語学に限らない)を視野に入れた活動も想定することが提起され、了承された。

教育指標

次回以降の理事会に先送りすることが了承された。

その他

1. 事業計画等の文言で文部省に関わる事項については、文部省の担当課長に提示して、意見を求めることが了承された。

2. 銀行口座からの集金業務委託について、どの業者を選定するにせよ、初期の会費徴収は3ヶ月分を現金で受け取り、自動引き落としは3ヶ月以降とすることで了承された。

3. (株)アルクの協力で協会ホームページを刷新して双方向の掲示板等が開設されることが報告され、了承された。

中部地区、関西地区での支部開設準備

次年度以降の開設に向けた設立準備会活動を進めることが了承された。また、支部活動を主体的に担う方々を評議員とすることが了承された。

第3回 日時 平成11年9月3日(金)

場所 教育支援協会東京事務所 全理事出席

(1) 事業活動の方針

8月30日、栃木地区で行われた野外体験学習及び来期実施予定のファムケーションの概要が議長より報告され、合わせて文部省生涯学習課への報告がなされたことも発表された。

3月実施予定の大学公開講座につき、早稲田大(建築)名城大(数学)京都大、岡山大(農)へアプローチすることが報告され、三浦理事より静岡大を付加することが提案され、了承された。

全国新学力テストについて、協会主催で実施するとき、募集を塾主体で行うと、テストは塾の営業範囲での取り組みとならざるをえず、将来文部省の後援を取り付けるようなものにはならない。また、全国規模での展開を考え、会場の賃借、パンフ、ポスターの制作となると、協会の経営規模では赤字になることは明確との意見が各理事から出され、次回理事会まで計画を再考することが決定した。

グローバル・キッズクラブにつき、今年度は、関西地区で事業研究することが決定されたが、既に各地域で取り組んでいる事業の情報収集と分析も合わせて行い、次年度の事業として、具体的な方向性が打ち出せるような研究が望ましいとの意見が出された。

会員の皆さんへ

引き続き会員の募集をお願いします

NPOは会員が多いことがイコール「公共性が高い団体」と考えられています。2001年秋にはNPO法案の改正が予定されており、その段階で税制上の優遇措置も検討されますので、それまでに会員数を3千名前後にしていきたいと思っております。会員の皆様のご協力をお願いします。

教育ボランティアの組織化の準備を進めています

2002年にはじまる「総合的な学習活動」では様々な教育活動が想定されています。そこでは田植えなどの農作業や可食植物の選別など色々な技能者が必要とされます。そのために教育支援協会では「こういうことなら子どもたちに指導できる」という方々の組織化をはかり、各地域でボランティアグループを準備する必要がありますと考えています。指導者の年齢は問いません。情報をホームページにお寄せ下さい。

協会ホームページが新しくなりました

教育支援協会のホームページはこれまで海外子女のための情報発信に使用しておりましたが、今回のNPOの認証に伴い会員相互の意見交換や体験学習の発表の場として使用できるように、掲示板機能を設けました。どうかこれを活用いただき、各会員からの情報発信をお願いいたします。

もちろん、会員の方々が教育活動に携わっている方々場合、その運営に対する意見交換・情報交換に使用されても結構です。使用方法に関しては何の制限もありません。ご活用下さい。

ホームページアドレス

<http://www.alc.co.jp/oss/oss4/super.html>

来年度役員立候補者の募集

来年度は教育支援協会の役員改選期に当たっております。役員の任期は2年です。12月1日より立候補者を受け付けますので、立候補される方は協会事務局までお知らせ下さい。なお、くわしいことは定款をご覧いただくか、協会事務局へお問い合わせ下さい。

Schedule

- 11月1日 第4回理事会
- 11月18日 教育講演会(京都)
- 11月19日 在日アフリカ外交官
セミナー(国連大学)
- 12月3日 教育講演会(広島)
- 12月5日 教育シンポジウム(栃木)
- 1月23日 第5回理事会(東京予定)

日時未定

開催予定の会議

- 中部地区地区本部設立準備会
- 関西地区連絡会
- 関東地区本部設立準備会
- 小学校英会話教育協議会
- 大学公開講座準備会
- 全国新学力テスト実行委員会

開催予定のシンポジウム

- 教育シンポジウム(京都)
- 教育シンポジウム(広島)
- 教育シンポジウム(福岡)
- 教育シンポジウム(長野)
- 教育シンポジウム(鹿児島)
- 教育シンポジウム(石川)

会員総会のご案内

教育支援協会では定款に基づき、3月末に会計を締め、決算を行い、会員総会を行います。その上で、特定非営利活動法人として、法令に基づき会計報告・活動報告を経済企画庁に行います。

まだ正式な決定をしておりませんが、会員総会を5月の日曜日に予定しておりますので、よろしく願い申し上げます。なお、総会は賛助会員の方の傍聴も可能です。

教育支援協会

〒105-0003 東京都港区西新橋3-23-5 御成門郵船ビル12階

東京事務局

03-3434-0352 FAX 03-3434-0353 E-mail super-k12@mua.biglobe.ne.jp

中部連絡事務所

052-800-1055